沖縄県を再生医療の先端拠点へ

～培養ヒト脂肪組織由来幹細胞を用いた再生医療の臨床研究をスタート～

本院の形成外科で国内初の培養ヒト脂肪組織由来幹細胞を用いた顔面変形に対する再生医療の臨床研究を開始し、平成 28 年 3 月 9 日、1 症例目の再生医療が成功したことについて記者会見を行いました。

琉球大学医学部は、再生医療研究センターを昨年の 6 月に開所し、ロート製薬と共同で脂肪組織由来幹細胞を用いた再生医療の研究に取り組んでいます。今年 1 月 20 日、頬がへこんだ男性患者さんの腹部の脂肪から幹細胞を抽出して培養し、顔面に移植する手術を 3 月 2 日に無事に終了しました。

将来的には沖縄県を再生医療の国際先端拠点にすることを目指しています。皆様の応援をよろしくお願い申し上げます。

【治療方法について説明をする形成外科の清水雄介特命教授】

【記者との質疑応答の様子】

（左から）藤田病院長、須加原理事・副学長、清水教授、野口教授、松下医学部長